

# 2023年度通常総代会報告書

5月25日、北海道大学工学部オープンホールにおいて、4年ぶりに北大生協2023年度通常総代会を対面にて開催いたしました。総代会は、実出席67名および書面出席101名による総代の皆さんの出席により開催要件を満たし、賛成多数によってすべての議案が可決成立しました。また各店舗の職員を交えて総代の皆さんと様々な意見交換を行い、日頃生協を利用している立場から貴重なご意見をたくさんいただきました。



67名の実出席と101名の書面出席で総代会が盛況のうちに終了しました。



挨拶する坂爪  
理事長

報告する芳賀  
監事会議長

回答する小助川  
専務理事

報告する田代  
学生委員長

- 第1号議案 2022年度事業報告書および決算関係書類等承認の件
- 第2号議案 北大生協3ヶ年再生計画決定の件
- 第3号議案 2023年度事業計画及び予算決定の件
- 第4号議案 役員報酬限度額決定の件
- 第5号議案 定款一部改正の件
- 第6号議案 議案決議効力発生の件
- 役員選挙

すべての議案が賛成多数で可決されました。  
また役員候補者は全員当選となりました。

**累積欠損を解消し事業再生・組織再生をはかるために  
「北大生協3ヶ年再生計画」を決定しました。**

## 議案の採決結果と出席者数

### 議案の採決結果

議案の採決結果 出席総代数 168名（うち実出席数 67名）

### 総代選出状況

選挙区	定数	選出数	選出率	本人実出席	代理出席	書面出席	出席合計	参加率
学部1年生	150	63	99.3%	47	0	12	59	93.7%
学部上級生		86		8	0	31	39	45.3%
大学院生	40	26	65.0%	6	0	14	20	76.9%
教職員	60	48	80.0%	3	0	37	40	83.3%
生協その他	10	10	100.0%	3	0	7	10	100.0%
	260	233	89.6%	67	0	101	168	72.1%

●学部1年生の総代選出は複数人を選出したクラスがあったためクラス数より多くなりました。学部上級生も継続が多く、昨年の選出数（197名）より多く選出できました。

5月2日 最終

選挙区（人）		2023定数	2023目標	2023選出数	2022	2021	2020	2019
学部生	1年生	150	130/150	63	52/52	52/52	0/52	52/52
	2年生以上			86	64/90	40/90	60/90	66/90
大学院生		40	30/40	26	23/50	23/50	37/50	29/50
教職員		60	50/60	48	48/60	52/60	54/75	54/75
生協職員その他		10	10/10	10	10/10	5/10	7/7	7/7
合計		260	220/260	233	172/220	172/220	158/274	208/274

●全議案全て賛成多数で可決決定されました。

### 【議案表決結果】

議案	保留	反対	賛成
第1号議案 2022年度事業報告書および決算関係書類等承認の件	2	0	160
第2号議案 北大生協3カ年再生計画決定の件	7	3	152
第3号議案 2023年度事業計画及び予算決定の件	3	1	158
第4号議案 役員報酬限度額決定の件	12	8	142
第5号議案 定款一部改正の件	1	0	161
第6号議案 議案決議効力発生の件	3	0	159

※ 議長は表決者数に加わりません

## 2023年度総代会の議事の概要

### 【2023年度 通常総代会】

開催日時：2023年5月25日（木）18:30～19:36

開催場所：北海道大学工学部 オープンホール

出席総代：本人出席 67人・代理人出席 0人・書面出席 101人 合計 168人

出席役員：坂爪 浩史 理事長、小助川 誠 専務理事、田代直也 常務理事、金川眞行 理事、  
逸見京花 理事、野呂香綸 理事、芳賀 永 監事会議長、岡野泰樹 監事

議 長：森 啓（大学院生総代）

書 記：戸松陸（学部2年）、石田きなり（学部2年）、渡豊稀羅（学部2年）

議事運営委員：田代直也（常務理事）、寺澤一彦（生協職員）

大学のBCPレベルがゼロとなったこともあり、4年ぶりに総代会を対面開催いたしました。会場は以前同様、工学部オープンホールを大学よりお借りして行いました。

学生、院生、教職員をはじめ、オブザーバーも含め多くの実出席で開催することが出来ました。実出席総代は67名、書面出席は101名の他、オブザーバーも30名ほど参加いただきました。表決の結果、すべての議案が賛成多数にて可決決定されました。

当日総代からの発言もあり、また事前に多くの意見（「意見書」後掲P10）もいただいて、積極的なご意見をいただいた総代会となりました。



**【第1号議案 2022年度事業報告および決算関係書類等承認の件】**

- 2022年3月から2023年2月までの北大生協の事業と経営結果の妥当性について確認され、2022年度に生じた損失の処理方法についても承認されました。
- 当期末処分損失金1億2,496万円を2023年度に繰り越す事が承認されました。

田代直也常務理事より2022年度の組合員活動報告及び事業活動報告、決算関係の報告と、芳賀永 監事会議長より監査報告があり過半数の賛成により原案どおり可決承認されました。  
(賛成160、保留2、反対0)

**【第2号議案 北大生協3カ年再生計画決定の件】**

- 2025年度までの3カ年における再生計画を決定しました。

小助川専務理事より、2025年度までの3カ年における再生計画の件について提案され、過半数の賛成により原案どおり可決決定しました。(賛成152、保留7、反対3)

**【第3号議案 2023年度事業計画及び予算決定の件】**

- 2023年度の事業方針とその計画の供給予算、損益計画を決定しました。

田代直也常務理事より、2023年度事業計画及び予算決定の件について提案され、過半数の賛成により原案どおり可決決定しました。(賛成158、保留3、反対1)

**【第4号議案 役員報酬限度額決定の件】**

- 役員(理事・監事)の役員報酬の限度額を決定し、その運用については理事会・監事会に委ねることが承認されました。

小助川 誠 専務理事より、役員報酬限度額決定の件について提案され、過半数の賛成により原案どおり可決決定しました。(賛成142、保留12、反対8)

**【第5号議案 定款一部改正の件】**

- 定款の一部を下記の様に改正する事が承認されました。  
模範定款例に従い、総代会議事録は作成した理事及び議長がこれに署名または記名押印する旨、定款第65条を変更します。尚、北海道知事からの定款変更認可を受けた日から施行します。

小助川 誠 専務理事より、定款一部改正の件について提案され、2/3以上の賛成により原案どおり可決決定しました。(賛成161、保留1、反対0)

**【第6号議案 議案決議効力発生の件】**

- 議案の本誌に反しない範囲の字句の修正を理事会に一任することが承認されました。

小助川 誠 専務理事より、議案決議効力発生の件について提案され過半数の賛成により原案どおり可決決定されました。(賛成159、保留3、反対0)

## 【役員選挙】

理事及び監事全員が本総代会の終了をもって任期満了退任となるため、2023年度役員選挙をおこないました。

役員選挙管理委員会 笠原委員長より、『役員選挙規約に従い公告期間に受付た候補者は理事会推薦のみであり、定数内（理事 21 名、監事 5 名）のため、投票は省略し候補者は全員当選とする』旨の説明があり、拍手で確認されました。

総代会終了後、工学部食堂に移動して、グループに分かれて総代と生協職員との意見交流会（Bパート）を開催しました（下記参照）。

Bパート（議案や要望を深める生協職員との意見交流の場）では、50名以上の総代と、オブザーバーの皆さんの参加がありました。食堂、購買、書籍などの各グループで前半に交流し、後半にはグループ替えを行って、資格・就職、健康安全、教育関連、環境などのテーマでも交流しました。各グループで軽食をとりながら、総代同士、また総代と生協職員とで活発な意見交流が行われました。各グループでは生協学生組織委員が進行役となり、また関連する店舗の生協職員とが、都度総代からの質問にお答えし、もっとこうしてほしいといった総代からの意見が出されました。ここで出されたご意見・ご質問等は、理事・組織委員会・生協職員により、今後の生協運営に活かしていきます。

### 【食堂】

メニューへの要望や、給水機や箸などのカトラリー置き場についての改善の声が寄せられました。

食堂でのパーティ対応についても話されました。

### 【購買】

北都店で行っているホットスナックやデザートなどへの要望が寄せられました。コーヒーマシンの利用状況についても話がされました。その他、スタンプラリーなどの企画の提案や、自然科学実験セットについての意見も出されました。

### 【資格・就職】

TOEFL 試験対策やその他の資格についての意見交流の他、就活について1年生には情報がなかなか入ってこないといった声も出されました。

その他、英語Ⅱの授業について、教科書販売について、レジ袋やり・リパックなど環境に関わる取組をはじめ、たくさんのテーマでの意見交流が活発に行われました。



# 2023年度 役員一覧

2023年度の理事・監事は通常総代会において決定就任し、その後の第一回理事会及び第一回監事会において、役職について互選され決定しました。

## 2023年度 理事・監事 名簿

理事会				
	役職	氏名	所属	備考
	理事長	坂爪 浩史	農学研究院 教授	
新任	専務理事	齋藤 真廣	生協職員	
	常務理事	小川 美香子	薬学研究院 教授	
	常務理事	金川 眞行	総務企画部総務課 職員	
	理事	小篠 隆生	工学研究院 准教授	
	理事	今村 央	水産科学研究院 教授	
	理事	コリー 紀代	保健科学研究院 助教	
	理事	林 忠一	北方生物圏フィールド科学センター 職員	
新任	理事	岩佐 俊明	理学生命科学事務部 事務部長	
新任	理事	佐々木 好美	工学系 事務部長	
	常務理事	高木 暉馬	文学院 修士2年	院生委員長
	常務理事	石本 万象	文学部 学生4年	
	常務理事	小松 慎太郎	文学部 学生4年	元学生委員長
	常務理事	田代 直也	工学部 学生3年	前学生委員長
新任	常務理事	渡邊 稀羅	農学部 学生2年	新学生委員長
	理事	奥山 莉子	工学院 修士2年	
	理事	野呂 香綸	理学部 学生4年	
	理事	逸見 京花	経済学部 学生3年	
	理事	羽木 康祐	法学部 学生3年	
新任	理事	萱沼 虎太郎	工学部 学生3年	体育会
新任	理事	石田 きなり	文学部 学生2年	
監事会				
	役職	氏名	所属	備考
	監事会議長	芳賀 永	先端生命科学研究院 教授	大学推薦
	監事	岡野 泰樹	経済学研究院 准教授	
新任	監事	中村 拓也	工学院 修士1年	
新任	監事	山崎 瞳子	理学部 学生4年	

順不同

## 当日の発言と回答

下記の通り当日発言通告がありました。

《通告項目について》

総代会当日に出された質問や意見に、当日会場で小助川専務補佐が回答したものに加筆修正しています。

<発言内容> 「収益改善の認識について問う」 院生総代より

### ① 生協アプリについて

生協アプリについてです。総代会で事前に何ら相談なく本アプリを採用したことにより、工学部食堂では決済に要する時間が何倍にも増え、行列が二倍以上の長さになっています。もはや待ち時間だけで40分以上要し、昼休みのほとんどが無くなる日もある有様です。

このままでは生協食堂の売り上げが一気に低下し、この改悪によって組合員の負担する人件費と通信費が爆発的に増大します。なぜコロナで赤字の中、さらに営業利益を減らすような詭策を取られたのでしょうか。

またアプリ導入によってどのような効果を見込み、どのような成果が得られたのでしょうか。見込んだ成果が得られない場合はどのような処遇を考えているか、お聞かせ下さい。

### ② 再生計画について

次に再生計画についてです。学内に新たにセブンイレブンも出来、日本全体を見れば賃上げの波が迫るなど事業環境をめぐる状況はさらに厳しさを増しています。しかし、22年3月期の営業利益率はマイナス1%、純利益率は5.8%と実態は本来の赤字を投資によって支えるファンドの様相を呈しています。

そこで、いっそのこと事業の損金を投資によって支える方針を強化してみてもどうでしょうか。あるいは本筋に戻ると2号議案についてそもそも新学術事業のパソコンシェア率が悪いのはコスト対効果が釣り合わないと感じる組合員が感じるからであって、それをカバーできる特典がなければアマゾンや楽天との価格競争に巻き込まれてしまいます。書籍に関しても同様です。今やアマゾンで24時間しかも学生なら10%offで本が購入できる時代です。

しかも家や研究室まで持ってきてもらえます。なぜアマゾンと価格競争をしようとしているのでしょうか。リアル店舗の強みを活かし、GEOやセカンドストリートのように中古品事業に転換されてはいかがでしょうか。「安い」だけならアマゾンとコブさっぽろで充分です。ゲオは2023年、民事再生に陥った他社店舗をゲオショップに転換し、1店舗あたり3.6億円の売上、1200万円の営業利益を上げています(DVD事業→中古品事業)

### ③ 監事の報酬について

監事報酬が4名で60万円限定は安すぎると思います。プロフェッショナルの仕事に対して正常な対価を支払うべきであって正しく利益を上げられる理事に対する報酬もより高く設定すべきです。

赤字だろうが黒字だろうが常に一定数が支払われるシステムはおかしいと思います。組合員から預かった資本の使い方に対して総代も含めて北大生協全体に気の緩みが生じているのではないのでしょうか。この点いかがお考えでしょうか。

A.

### ① 生協アプリについて

システムを新規導入した経緯ですが、これまで使用していたシステムの使用期限が2022年12月で終了することが決まっていた。北大生協、北海道地区単独でシステム継続、新規導入をするにしても数十億以上の開発、運用費を計画することは大変難しく、全国6地区連帯でシステム開発、費用負担することを進めることになりました。

ここ5年間の開発費用と運用費用合計は73.2億円になり、従来システムでは90億かかる予測から16億程度削減することができました。2023年度は暫定的に2重コストがあり5億円程度の削減になる見込みですが、2024年度からは2重コストがなくなり削減効果はもう少し多くなる見通しとなっています。

今回、導入したアプリ決済でレジ混雑につながった要因として、サーバー決済の容量が少なかったこと、アプリインターフェイス（バーコードなど）で認証させる行動が増えたこと、レジオペレーションによるレジ操作の習熟が足りなかったことです。この点について、ご迷惑をお掛けしたことをお詫びします。

原状のレジスピードについては導入直後の混乱期に比べると大きく改善していますが、人手不足でレジ台数分のレジ担当者、出食担当者を配置できないことも混雑の要因として認識しています。

現在食堂部のパート職員の時給を改善して、人手不足は少しずつ解消されており混雑緩和、夜営業の復活を考えていきたいと思っております。

## ②再生計画について

北大生協は組合員自身が運営する組織ですので、出資金の多寡によらず、学生・教職員によらず、本日のようにひとりひとりが運営に参加する協同組合組織です。大株主だから他人より多くポイントが付くことはありませんし、高い報酬を得るために役員が立候補するわけではありません。1980年代のアメリカの生協は株式会社的な事業活動に舵を切ったことがありますが、上手く行かず解散しました。今回の提案を組合員・総代のみならず真剣に受け止めて議論いただけることそのものが、北大生協再生の第一歩だと確信しています。

22年度の単年度黒字決算は外部からの投資があったわけではありません。大学生協共済連のC O O P共済連への事業譲渡による、残余財産分配が約1億6,200万円によって、2022年度は経常剰余段階で単年度黒字になりました。しかし、累積欠損金は▲1億2,500万円となりますので事業剰余段階で黒字にできる運営が重要になります。

パソコンシェア率については同様の価格帯・スペックで北大生協を大きく上回るシェア率の大学生協が全国各地にあります。

パソコンの4年間サポート、北大生の経験から作る講習会は他の量販店には無い強みになると考えています。目標シェア率は90%や80%ではなく、50%としているのはサポートが必要、講習会が必要な新入生はこの程度ではないかと想定して設定しています。すでに知識を持っており、サポートや講習会が必要ない新入生については、自分でパソコン筐体を選ぶことができると考えています。

北大生協が目標シェア率に達していないのは、北大生の知識・経験の結集ができていないということだと考えています。総代の皆様にも、新学期アドバイザーになっていただき北大生の知識・経験と共に北大生協の商品提案に力をお貸しください。

## ④ 監事報酬についてご意見について

企業で行っている監査法人による監査などとは違い、組合員組織の活動や、理事や理事会が組合員のために執行しているかどうかを組合員自ら監査するというチェック機能として監事を位置付けています。

損益の数値だけでなく、組合員活動も含めて理事会の執行をチェックする役割のため、黒字の利益が大きく出たからと言って報酬を上げるといってはなじまないと考えています。

ただ報酬の額をもっと高く設定すべきだと意見は受け止めさせていただき、額をどうするのかは今後、理事会と監事会で検討したいと思います。

<発言内容> 「参画意識向上と利益増大について」 院生総代より（通信用紙提出のみ）

安定経営のための利益増大が最優先で解決すべき課題である前提で質問します。

議案書P4の方針1「組合員の参加を強化し～」について質問です。

質問① 参画意識が高まったことで、組合員がどのような行動を起こして利益につながるのか。何に対する参画意識なのかも含めて具体的に伺いたい。

質問② 「見える化」は一方的情報提示で、参画意識向上につながらなかったとあった。参画意識向上に必要と考える要事を3以上伺いたい。



## A 2.

## 質問①

参画意識が高まることで、店舗利用回数が高まり利益につながると考えています。北大生協はご存じの通り、北大構成員のみが組合員資格を持つことができる組織です。このように範囲を限定している職域の生協では、組合員の参画意識が大変重要です。

ネット通販などでは店を選ばずにほしい商品を購入することができます。また近隣のスーパーマーケットや量販店でも、大学生協「組合員の声」のような、欲しい商品の意見を伝える取り組みは当たり前になっています。

北大生協の取り組みとしては、店舗に欲しい商品への意見（声）を出していただく「参加」ではなく、商品選定や商品のおすすめ方法に「参画」していただくことが重要です。昨年度から北部店では「自然科学実験セット」の取り組みを行っています。以前は実験ノート、レポート用紙、方眼紙などを個別に販売していましたが、「実験で何を購入したらよいかわからない」という学生の声・背景を踏まえ、販売を開始しました。たくさんの先輩にお勧めできるか聞き取りし、コメントポップも作成してもらいました。想像以上に好評で1,000セットを完売しました。

このように、職域生協＝同じような生活をしている組合員が多数、である北大生協は「その商品が欲しい理由やお勧めする理由」を探り、店舗で表現することで同じ生活をしている組合員が利用したい、と思うお店になれます。また、自分が必要だと思う商品（ただ単に好きだから、だけでないこだわりや理由）がお店でお勧めされることで「北大生協は自分たちの生協（お店）」だと実感し、愛着を持っていただくことができると考えます。それらはリピーター増や、同じ生活背景の組合員の利用として、店舗利用回数の増加につながると考えています。

## 質問②

- 1、「組合員の声」の認知度UPと声を叶える率のUP
- 2、一方的に声を伝えるだけでなく、交流ができる「総代ミーティング」「組合員ミーティング」の開催
- 3、総代、組織委員加入数の増

## 事前にいただいたご意見に答えて

下記の通り、事前にいただいたご意見がありました。

### Q1.

#### ① 第一号議案について

状況表が一般的な会計の項目と異なり見づらいです。今後、供給高、事業総剰余金、経常剰余金などの項目に対し、わかりづらいので売上、営業利益経常利益…などの項目注釈を入れてもらうことは可能ですか。そして欲を言えば5年分の棒グラフなどがあると良いのですがそういうことは可能ですか。

#### ② 意見用紙について

紙じゃなくてWordかPDFにしてもらえませんか。ITを活用しましょう。

#### ③ 議案書について

PDFで送ってもらえますか。コロナ禍で培ったITスキルを活用しましょう。

(院生総代より)

### A 1.

- ① 決算数値は確かにわかりづらいしなじみが無い方が多いかと思います。ご意見いただいたグラフ化などは、主要なものだけでも次年度以降に表記したいと思います。会計項目は生協法に沿った表記となっており、株式会社などの一般的な会計での表記とは異なっております。議案書もしくは議案書ダイジェストなどに項目注釈を入れるようにいたします。
- ② ご意見用紙について、次年度以降、データでお寄せいただける仕組みを用意します。
- ③ 議案書について、冊子を省略することはできませんが、pdfでご覧いただける仕組みを用意します。

### Q2.

食堂や購買のように、生協の運営する仮眠所を作って欲しい。

食堂のメニューを増やして欲しい。

購買の食品にもミールカードを使えるようにして欲しい。

(学部総代より)

### A 2.

・仮眠所については「食堂座席以外に学内でリラックスしたり、寛いだりするスペースがほしい」とのお気持ちと受け止めました。大学から生協がお借りしている区域では、そのようなサービスを提供するスペースがありません。大学として仮眠含めてリラックスできるスペースがあると良いかもしれませんが、大学に要望してみてもいいかがでしょうか？

・メニューについては「メニュー選びで迷わせないために種類を絞ることと、選ぶ楽しさのバランスが取れていない」とのご意見と受け止めました。大学生協は昼食時に混雑する特徴があるので、今後も選びやすくする=早く出食するためにメニューを絞る方針ではありますが、1~2週ごとにメニューを変えることで選ぶ楽しさを失わないようにします。

・ミールカードには「3食きちんと温かい食事を摂って、北大での生活の基盤を整えたい」との願いで実施しています。食堂で提供するものと購買で提供する食品は「食べる」という面では同じに見えますが、ミールカードの趣旨をご理解いただければ幸いです。

Q3.

北部食堂の混雑について、麺コーナー付近に設置してあるお弁当類が入ったケースを移動してほしい。現状だと、麺コーナー付近のレジに列ができるとお弁当が入ったケースの前に人が並び、お弁当を購入する人との間で衝突がおきてしまう。そのため、お弁当のケースを大きいレジの方に移動することは可能でしょうか。(学部総代より)

A3.

・麺コーナー付近のお弁当のホット什器の配置場所は、混雑状況を考慮し、メインで使用しているレジ付近に設置をすると什器の場所までたどり着くまでが、大変なことと、奥まで進まなくても利用できるようにと今の場所に設置しておりました。ご指摘の通り、混雑状況は昨年と変わっておりますので、今後最適な設置場所の検討をいたします。

Q4.

広報活動について。毎年物件費のうち10%程度を占めていますが、その活動内容の詳細を伺いたく、またいち学生として北大で暮らしている身から鑑みるに再考の余地があると考えます。

(院生総代より)

A4.

「派手な広報を行っていない北大生協なのになぜ広報費が多く発生するのか？」とお気持ちと受け止めました。北大生協の広報費のうち半分以上がチャージプレミアのプレミア分の金額となっています。23年度からチャージプレミア分は供給値引として計上されますので、次年度決算では本来的な広報費（事業活動のためのデザイン印刷費等）を明確にします。

Q5.

2014年より事業剰余金の赤字が続いており、物件費は中でも変動は小さいですが、一定してある程度毎年かかっているものです。今の学生がデジタルネイティブであることを考慮し、大学と包括連携協定を結び、イベントなどを最終的にELMSポータルで通知するようしたり、昨年導入された生協アプリで今週のメニューをポップアップ表示や通知したり、できることはたくさんあると思います。良い事業内容と全体的に存じますが、学生に正しく伝わらないとそれは無いのと同じです。

(院生総代より)

A5.

まず、北大生協は北海道大学と北大構成員の福利厚生に関し業務委託契約を結んでおります。ELMSは受信者員が必要とされる情報を提供するツールと認識しています。北大生協のイベントは、もちろん多くの方でできれば組合員全員に参加していただきたいと考えていますが、全員が必要とする、を満たすことが難しいと考えています。一方、大学生協アプリの通知を利用した情宣については、効果的は方法について研究し、活用していきたいと考えます。

Q6.

この総代会についての招請状や議案書等の書類が道央札幌郵便局にて引き受けされたのが5月16日のようなのですが、この場合、総代会の会日10日前までに書面による通知を発することを定めた、北海道大学生協同組合定款第54条4項に違反していないでしょうか。私の確認不足・認識違いでしたら申し訳ございません。

(院生総代より)

## A6.

お届けが遅くなり申し訳ありません。ポストに入れた日時と郵便局で受け入れられた日時のズレかと思われる。次年度からはもう少し余裕をもってお届けできるようにいたします。

## Q7.

北大生協3ヶ年再生計画は良く出来ていると思う。

大学との関わり強化、全ての生協職員に働き甲斐ある北大生協をつくる、書籍損益構造の改善などは、現状と照らしやむを得ない面も含め、ていねいに説明されていると思う。

一方で、組合員と生協とのつながりを深める活動、組合員加入を推進する取り組みについては、もう一步、具体的な提案が欲しい。

組合員数はわかるが、組合員比率がわからない。供給高についても店舗によって組合員/非組合員比率が一定数以上増えない傾向が続いているようであれば、逆にそれを前提として経営戦略の構築が必要ではないだろうか。また、組合員ひとりひとりが、大学理事者に対して、生協の提案にきちんと耳を傾けるよう、声を上げていくような運動も必要に思う。よって今回、2号3号議案については保留とする。  
(その他総代より)

## A7.

3ヶ年計画について一定のご評価をいただきありがとうございます。

ご指摘の通り組合員数だけでなく、店舗別で組合員/非組合員比率（組合員加入率）による戦略を考えることは重要と考えます。現状では店舗別の加入率を出すことができていません。まずは現状認識のため、教職員の所属別の加入率を出すことから始めたいと考えます。

## Q8.

・北部食堂について。

レジのレシートが出てくる所の近くにレシートのごみを入れる小さな箱を設置してほしい。

・工学部食堂について。

レジのレシートが出てくる所の左隣にあるレシートを捨てる箱を右隣に移動してほしい。なぜなら動線を考えた際に右隣の方が自然だからである。今回の左右の表記は、客側から見た場合の表記である。

・自動販売機について。

本年1月からのシステム移行で学生証で支払えなくなった自販機が続出していますが、また学生証が利用できる自販機にしてほしい。

・クリーニングについて。

生協会館や工学部購買でのクリーニングについての引換証を生協アプリ内や学生証等で代用できるようにしてほしい。

(院生総代より)

## A8.

## 北部食堂

・レシートプリンタ付近のゴミ箱設置に関してですが、プリンタ付近に設置もしくはレジ通過後のカトラリー類の設置場所付近に設置を検討いたします。

## 工学部食堂

・既存の設備を利用してスキャナーやレシートプリンター等の周辺機器を設置しているため現状に配置となっています。レシートプリンターの右横にわずかなスペースがあるのですが台の端ということもあり落下してしまうので左側に置いているということになっています。費用をかけて専用台を設置するか検討します。

- ・自動販売機の学生証等での決済機について取替設置が遅れており申し訳ございません。システム変更前からバンダーには発注をかけていましたが、材料不足のため出荷が大幅に遅れております。出荷され次第、順次取り替えます。
- ・せっかくなアプリやIC学生証があるのだから、そのリソースを使ってみては？とのご意見と受け止めました。クリーニング引換券のみの活用だと費用をかけて開発するのは難しいですが、クリーニング以外に「引き換え」「認証」「受け渡し」など生協とのやり取りの活用できそうな場面があれば、お知らせいただければ幸いです。

Q9.

私は「組合員の参加」について意見させていただきます。大学生協の組合員として5年間所属しましたが「参加し企画等でお金を出したい」と思わせる機会は少ないように感じます。

組合員、特に学生が「大学を考える」わかりやすい企画に参加する機会をつくる、はいかかでしょうか。

現在行われているフォトコンテストの受賞作品を食堂の壁に大々的に掲示するのが最も実現できそうな私のアイデアです。写真以外にも、イラストや俳句などに応用可能です。課題となっている憩いの場作りもアイデアを募ってハッカソンのような「イノベーションコモンズ」を目指したいです。歓迎していただけるなら、私は主体的に先導してやります。

(院生総代より)

A9.

たくさんアイデアをいただきありがとうございます。生協では学生委員会、院生委員会、教職員委員会などがそれぞれ組合員参加の企画を立案し、主体的に取り組んでいます。いただいた意見を各委員会にお伝えして、ぜひ大学生が大学を考えるわかりやすい企画に取り組んでいければと思います。また良ければ総代の方も、各委員会に関わっていただき、一緒に取り組みをつくっていければと思いますので、力をお貸しください。

Q10.

「第3議案 2023年度事業計画及び予算決定の件」(P.58)にも挙げられていましたが、人材確保の困難は大きな課題だと思います。コロナ以降、購買や食堂の人員が減り、にもかかわらず、その状況で以前と同じように組合員に利用してもらおうという今の状態は組合員にとっても利用したいと思えるものではありません。(例えばピーク時の食堂混雑) 難しい状況とは思いますが、必悪としていときに、スムーズにサービスを受けられるようにしていただきたいです。

(例に挙げた食堂利用ですが、昼食時のようにピーク時に混雑するの!利用者が多いのであたりまえのことではあると思います。ただ、現在の混雑は利用者が多いので、席がない)のようなことではなく、出食やレジを担当できる方が少ないため、なかなか食事にまでいかない(それ以前の部分)で生じている混雑だと見受けられます。

昼休みの限られた時間で多くの組合員に利用してもらうには、早く改善された方がよいと思います。)

(教職員総代より)

A10.

食堂の昼ピーク時には特にご迷惑をおかけしており、申し訳ありません。食堂昼ピーク時にスポットを当ててご説明すると混在原因は大きく2店あります。

「レジでの混雑」

解決方法 1、レジ台数増=レジ担当者増 2、ミール決済・電子マネー決済増 3、レジスピード増 1と3を合わせたミール専用・電子マネー専用レジ設置です。まだ研究段階ですが、食堂でのセルフレジも出来るか検討できます。

「出食口での混雑」

解決方法 1、出食担当者増 2、セルフ出食の検討(ライスロボ、みそ汁ジャー)

個別のレジスピードは総代会発言への回答でも記載した通り、1月と比較して大きく改善をしています。その他の解決方法についても1つずつ実現していきます。

## Q11.

## P.52 新学期事業の再生

パソコン（50%）・iPad（15%）で高いシェア率を目指していますが、学生の購入利用はどのように変化していくのでしょうか。現在の研究室配属学生では大学入学時に購入したパソコンを利用し続けていますが、少なくとも3年、大学院進学者では4年以上が経過することになります。大学入学時ではオーバースペックであったパソコンがこの時点では使いにくくなってしまいます。また、高校生以下でパソコンやタブレットを所有し、入学してくる学生が増えてくるように思います。4年間使用することを推して販促を行っているかと思いますが、利用する学生にとって大学4年間使用するパソコンを入学時に（人によってはiPadとあわせて）購入するメリットはどこまであるのかと感ずるところもあります。

大学1,2年生は授業でオンライン資料を使用することが多いかと思いますがタブレットタイプのもので、課題や卒研でパソコンが必要になる3,4年生あたりでパソコンの購入をという形が望ましいのではないかと思います。

理系学生では大学院進学がますます当たり前になっていく状況下では、4年間ではなく6年間の学生生活を想定した販売が良いかと思います。とはいえ、生協としては大学入学時が販売しやすいところもありますので、一意見として新学期事業の提案を検討していただけると幸いです。（学部新入生への提案は多くありますが、学部上級生や院生への提案は共済保険事業含めて提案が非常に薄くなっているように感じています。）

## P.60 フードサービス事業の再生

「いろいろな店に行きたくなる食堂づくり」とありますが、やはり食堂は混んでいるというイメージが強く、まずもって食堂へは行きたがらず、ましてや遠くの他店まではよほどのことがない限り行かないと思います。また、コロナ禍を経てきた上級生や院生は、コロナ以前の学生と比べて外食せずとも食事を摂ることが上手くなっているように感じます。学生からすれば、混雑していて、割高で、営業時間が短い食堂を利用する機会が減ってしまうものかと思いますが、教職員の立場では食堂で会食することがありますが、メニューが少なく、パネルによって

阻まれている環境では食堂の利用は促進されないように感じます。

以前の工学部店ではラウンジ店やbuffet形式等、混雑していても利用しやすい華やかな食堂でしたが、現在は食材や人員を減らしながらも提供時間を速く、いかにしてうまく捌かという雰囲気であり、気持ちとして殺風景な食堂となっています。自分としてはあまり利用したい食堂ではなくなっています。

(教職員総代より)

## A11.

(新学期事業の再生について)

ご意見いただきありがとうございます。

入学時に購入したパソコンを3-4年お使いいただくと、確かに使いにくくなる（不具合も生じやすい）こともございます。生協で購入されますと、パソコンの起動が遅くなった等でもサポート、4年間保証をしておりますので、入学時にご購入いただくメリットはあるとは思っています。

ただ、仰る通り、学生、組合員の購入利用はオンライン授業が増えてからは常に変化しているように感じております。GIGAスクールから数年経ち、中学や高校ですでにタブレットをお持ちの学生もここ数年で増加しております。また、様々な作業（エクセルやパワーポイント）をしながら、オンライン授業を受けるなど、オンライン授業のあり方を多様化していますので、ある程度のスペックのパソコンも求められております。

そのようなことを加味しながら、今の大学生にはどのようなタイプのパソコン提案が必要かということは常に考えていかなければなりません。また、6年間想定も今後の課題と捉えています。

そして、6年間想定をしていくにあたり、学部上級生や院生へのご提案はご指摘の通り、非常に弱い部分です。新入生とは多くの接点を持っていますが、上級生になるにつれて、なかなか接点を持っていません。パソコンに限らず、共済事業も含め、生協全体の提案を上級生へ必要な時に必要な情報を渡せていない現状も少なからずありますので、どう提案していくか、新学期事業も含めて考えていきます。

今後、アンケート等で組合員の皆様へはご協力いただくこともあるかと思いますが、是非ご協力いただければと存じます。また、引き続きご意見をください。

新学期に限らず多くのことを皆さんと考え、事業の再生をしていきたいと考えております。

(フードサービス事業の再生について)

ご意見いただきありがとうございます。

食堂は混んでいるイメージが強いと言うのは、昨年の食堂利用アンケート結果でも食堂の嫌なところと言った意見で1番多い意見でした。コロナ禍により食堂で働く職員の入れ替わりにより、配膳スピードやレジスピードが落ちているのが現状です。また、コロナ禍による職員の退職によって、現在人員不足となっている店舗もあり、提供したいレベルのサービスが提供できていないと言うのも現状です。こちらの問題に関しては今後サービス改善のため、指導に努めて参ります。

混雑の緩和や利用しやすい導線の作成にも取り組んでおり、北部食堂では昨年秋からはお昼のピーク時はライスロボとセルフでの味噌汁を導入し、ライスや味噌汁単品のためだけに配膳コーナーに並びなおさなければいけない導線などは改善されました。ですが、限られたスペースや座席数の中での改善案を検討しておりますので、なかなか解消できていない部分もあるのが現状です。

食堂の価格の面ではこの間、食材や流通費の関係でメニューの価格が上がっていることに関しては、ご理解いただけますと幸いです。その中でも北大独自の企画実施の際には、組合員の皆様にご利用いただきやすい価格設定を心がけております。メニュー数に関しても今後の改善点として、メニュー編成の見直しや企画の実施等に取り組んでまいります。

営業時間に関しては、ご存知の通り、コロナ禍での人員の減少による、人員不足で営業時間の拡大の対応ができておりません。今後は少ない人数でも営業できるよう、セントラルキッチンの仕組み作りを取り入れることも計画しております。

最後にはなりますが、組合員の皆様とより良い食堂運営を行っていきたくておりますので、今後とも、店舗運営や活動について引き続きご意見やご協力いただければと存じます。

今後のフードサービス事業再生に向けて、引き続き、皆様と進めていきたいと考えておりますので、今後とも、よろしくお願いたします

Q12.

P.62 学生組織委員会

コロナ禍で活動が低迷していたところかと思えます。今後活動を再開していく中で、学生が主体となって生協店舗を始め、様々なところで活動している様子が見られますと活気ある魅力的な大学キャンパスにつながるかと思えます。また、学生組合員の組織委員会活動への参加も増えてくると思えますので、大変ですが学生さんが見える委員会を楽しみにしております。

P.63 留学生委員会

コロナ禍で活動休止しておりましたが、大学機成員として留学生は在籍し続けており、その中でも留学生支援を行う団体等があったのではないかと思います。ここで北大生協が留学生組織委員会を再開する目的を今一度考えていただけると良いのではないかと思います。ただ留学生支援をというのであれば、既存団体を後援する方が効率的であり、北大生協が組織委員会を組織するメリットはそこまでないと思います。自分としては、北大生協と留学生の橋渡しの役割を担ってくれる組織委員会になると良いと考えています。2の「留学生の視点を北大生協の事業や店舗づくりに活かす」ということと同時に、留学生に北大生協を広める役割を担ってほしいと思います。留学生は各国や各学部でコミュニティを持っていることが多いです。北大生協を知らず利用していない留学生もまた多いかと思えます。国際化が今後も進む大学環境において北大生協が留学生とともに歩むことはより一層重要になってくると思えます。

(教職員総代より)

A12.

委員会活動へのご意見ありがとうございます。委員会を中心に、学生が主体となってさまざまな活動を行っていきたいと思います。また留学生対応について貴重なご意見ありがとうございます。大学様にも協力いただき、既存団体のいくつかと連絡を取りつつあるところです。引き続き留学生委員会の再建と活動について進めていきますので、今後ご意見等ございましたら、生協までお寄せいただくと幸いです。

以上



Web サイトで情報を発信しています。

【北大生協 Web サイト】



【生協営業時間・各店連絡先】



このほか、Twitter、公式 LINE などでも情報発信しています。



## 北海道大学生生活協同組合



〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目  
TEL 011-746-6218 FAX 011-746-2341  
<https://www.hokudai.seikyou.ne.jp/>  
e-mail : seikyou@coop.hokudai.ac.jp